Fortinet 製 FortiGate 90D ネットワーク監視表示灯 NH-FV1 シリーズ 連携手順書

目次

はじ	.めに	S
1.	機器構成	
	FortiGate の設定手順	
	ネットワーク監視表示灯の設定手順	
	その他の SNMP イベント送信	

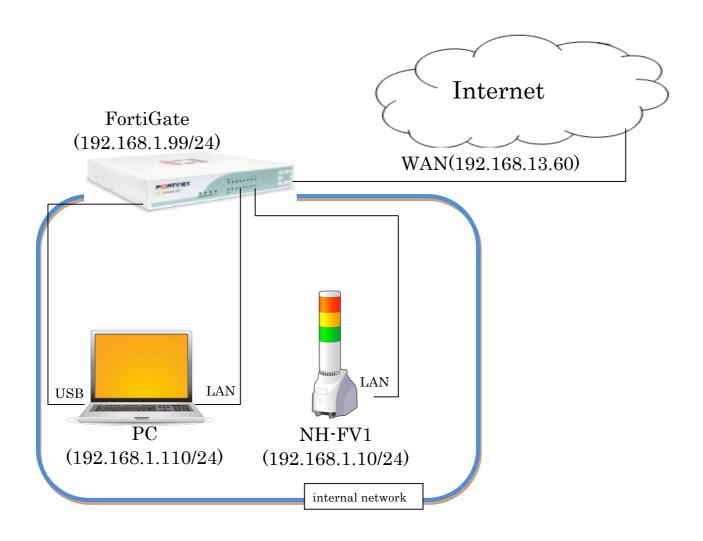
はじめに

Fortinet 製 FortiGate 90D(以下 Fortigate)と、ネットワーク監視表示灯 NH-FV1(以下 NH-FV1)を接続し、FortiGate から SNMPトラップを送信、NH-FV1で受信するための設定手順を紹介します。

トラップを送信することで fortiGate のハードウェア高負荷時、ウイルス検知時、VPN アクセスの報知などが可能になります。 各機器の初期設定、IPアドレス設定や詳細な設定などは、それぞれの機器の取扱説明書をご確認ください。

1. 機器構成

SNMP トラップの設定をおこなうための機器構成例を以下に記載します。IP アドレスや機器の台数は環境により異なりますので 環境に応じて設定してください。

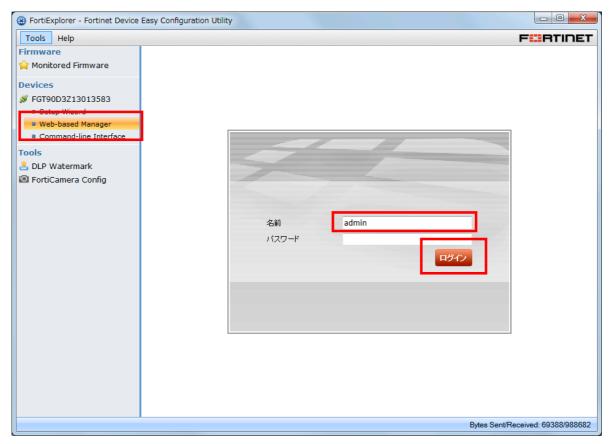


2. FortiGate の設定手順

FortiGate がウイルス検知した時に、FortiGate から NH-FV1 に対して SNMP トラップを送信するための設定手順を以下に示します。

本設定は、FortiExplorer もしくは WEB ブラウザから FortiGate にアクセスするため、状況に応じて FortiExplorer をインストールしてください。ここでは、FortiExplorer を使用します。

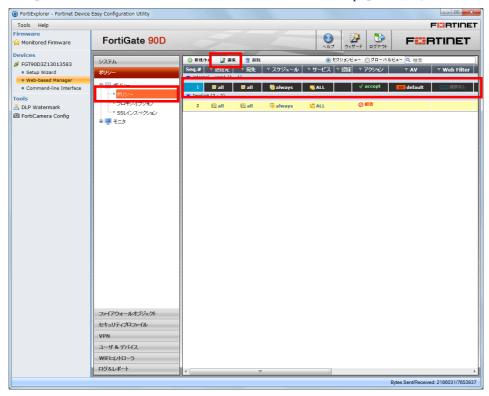
USB でパソコンと FortiGate を接続した状態で FortiExplorer を起動後、「Web-based Manager」を選択、名前に「admin」を入力、パスワードは空白のままログインボタンを押します。



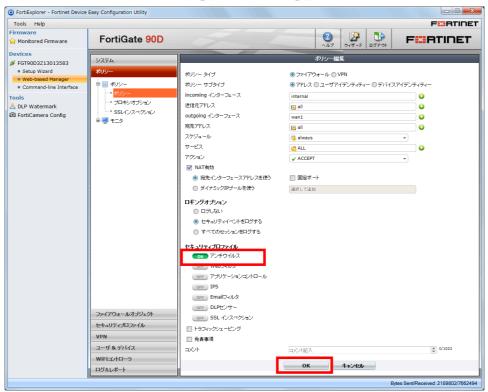
※設定を変更している場合は、設定した「名前」と「パスワード」でログインしてください。

設定画面が表示されます。

「システム」→「ポリシー」をクリックするとポリシーの設定画面が表示されますので、「seq.#」の1を選択し、編集をクリックします。



ポリシー編集画面が表示されますので、「アンチウイルス」を ON にし、「OK」をクリックします。



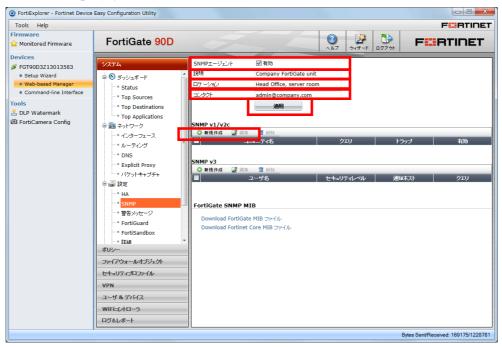


SNMP が表示されます。

「SNMPエージェント」を有効にし、「説明」「ロケーション」「コンタクト」に以下を入力します。

説明	Company FortiGate unit
ロケーション	Head Office, server room
コンタクト	admin@company.com

適用を押下し、「SNMP v1/v2c」の新規作成をクリックします



新規 SNMP コミュニティが表示されます。以下に従って設定をおこなってください。

コミュニティ名: public

ホスト: 追加を押下

IP アドレス/ネットマスク: 192.168.1.10/24(NH-FV1 の IP アドレス)

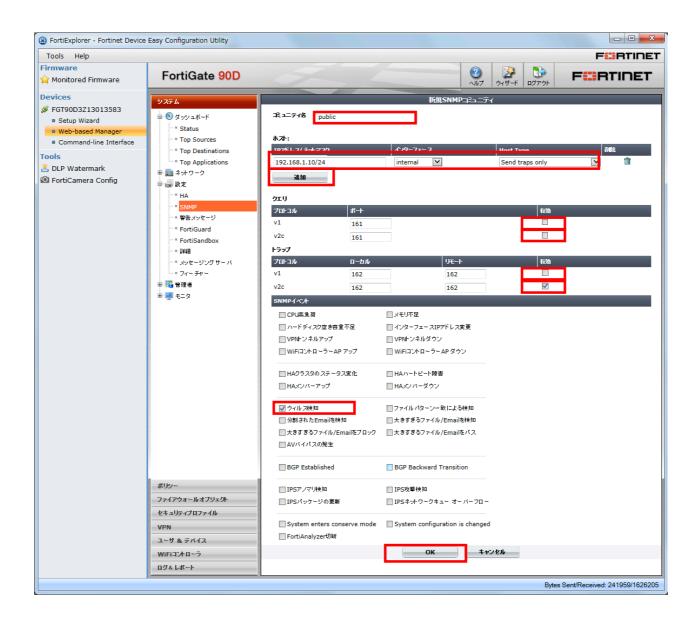
インタフェース:internal(内部ネットワーク)

send type: Send trap only

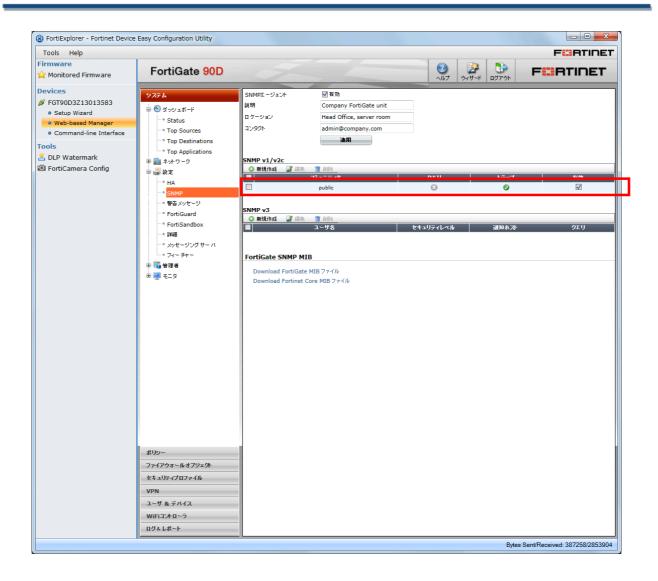
クエリ:有効のチェックを外す

トラップ:v1 のみ有効のチェックを外す

SNMP イベント: ウイルス検知のみチェック



「SNMP v1/v2c」に以下の項目が追加されます。



3. ネットワーク監視表示灯の設定手順

FortiGate から送信された trap を、NH-FV1 が受信し表示灯の赤を点灯させるための設定を以下に示します。

NH-FV1 の IP アドレスの初期値は「192.168.10.1」となっていますので、事前に FortiGate 及びパソコンと通信可能な IP アドレス に設定しておいてください。

web ブラウザを起動し、NH-FV1 の IP アドレスを入力します。

ログイン画面が表示されるのでパスワードに「patlite」(初期設定時)を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。



ログイン後、ブラウザの左側にメニューが表示されるので、「セットアップ項目」→「SNMP 設定」をクリックします。

右側にSNMP設定画面が表示されるので、「受信TRAP」の「受信TRAPコミュニティ」が「public」をなっていることを確認します。
※「public」でない場合は、設定値を「public」に変更し「設定」ボタンを押してください。



メニューの「動作設定」→「TRAP 受信設定」をクリックします。

TRAP 受信設定画面が表示されますので、以下のように設定項目に値を入力します。

- ■TRAP 送信元アドレス: 192.168.1.99(FortiGate の IP アドレス)
- ■TRAP 番号: 1.3.6.1.4.1.12356.101.2.0.601 (ウイルス検知のトラップ番号)
- ■動作設定:赤 点灯(トラップを受信した時の動作)

NH-FV1 の動作設定は、任意で変更してください。

入力後、「設定」ボタンをクリックします。



これで、NH-FV1 の設定は完了です。

ウイルス検知したタイミングで赤が点灯します。

4. その他の SNMP イベント送信

ウイルス検知時のSNMPトラップ送信以外にも、FortiGateの「SNMPイベント」のチェックとNH-FV1の「トラップ番号」を変更することで、他のイベント時にもトラップを送信することができます。

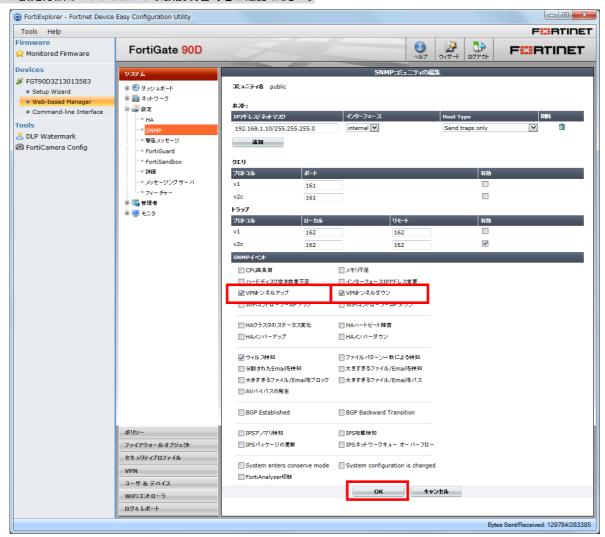
本手順書に記載のない SNMP イベントとトラップ番号は、FortiGate の MIB をご確認ください。

例)VPN 接続時に黄点灯、VPN 切断時に黄消灯を追加したい場合

•FortiGate 側

SNMP コミュニティの編集から「VPN トンネルアップ」「VPN トンネルダウン」にチェックをし、「OK」をクリックします。

VPN の設定方法は FortiGate の取扱説明書等をご確認ください。

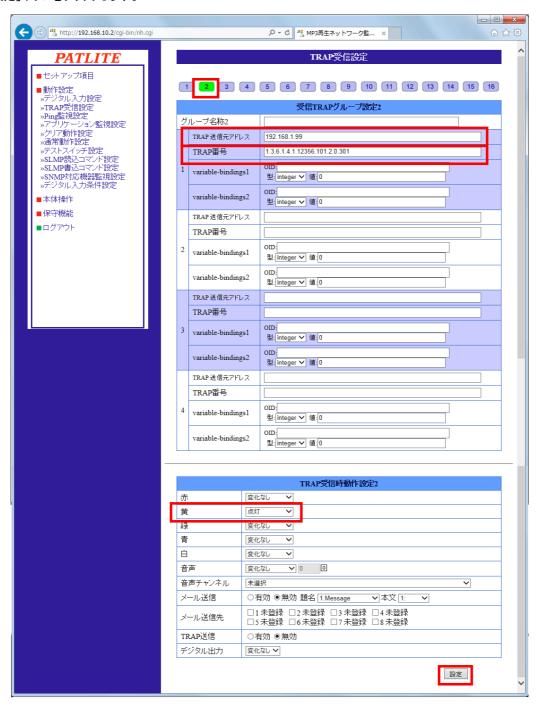


•NH-FV1 側

TRAP 受信設定画面から 2をクリックし、以下のように設定項目に値を入力します。

- ■TRAP 送信元アドレス: 192.168.1.99 (FortiGate の IP アドレス)
- ■TRAP 番号:1.3.6.1.4.1.12356.101.2.0.301 (VPN 接続時のトラップ番号)
- ■動作設定:黄 点灯 (trap を受信した時の動作)

入力後、「設定」ボタンをクリックします。



次に3をクリックし、以下のように設定項目に値を入力します。

■TRAP 送信元アドレス: 192.168.1.99 (FortiGate の IP アドレス)

■TRAP 番号: 1.3.6.1.4.1.12356.101.2.0.302 (VPN 切断時のトラップ番号)

■動作設定:黄 消灯 (trap を受信した時の動作)

入力後、「設定」ボタンをクリックします。

